



ひかりのこつうしん No.8

ひかりの子幼稚園・保育園

2019年11月

「クリスマスアドベントを迎えて」

ひかりの子幼稚園・保育園では先週よりクリスマスアドベント1週目を迎えました。

クリスマス当日までの1カ月、クラスでの取り組み、絵本、製作などお部屋はクリスマスに包まれていきます。本物のろうそくの光を見つめる目、アドベントカレンダーに毎日一つずつお当番が飾りを掛けること、子どもたちはいつもと違う雰囲気を楽しんでいます。

園が何より大切にしていること・・・

「イエスさまが飼葉おけの中でお生まれになった」その意味をたどること。弱い者にこそイエスさまが来てくださること。クリスマスの本当の意味「与えること、人に喜ばれること」を知ること。これらをページェントや劇、楽器遊びを通して、子どもたちが表現し、その思いをみんなで感じる事が、クリスマスの大きな願いとなっています。

今年、年長組はページェントを1クラスごとで取り組みます。運動会、ひかりの子まつりを経験して子どもたちの成長には目を見張るものがあります。周りを見ることができ、相手の気持ちを思いやる事ができる、役決めの話合いも粘り強く続け、決して安易にじゃんけんで決めることはしません。

今、クラスやホールでページェントの練習の取り組み真っ最中です。それぞれのクラスや担任の個性が出て、一緒に練習をしていて、とても楽しくとても興味深いです。

ナレーター役の子どもは礼拝で♪きよしこの夜をトーンチャイムで演奏するお役もしています。

先日こひつじ組は「リトミック」の久本先生とトーンチャイムでリズム遊びをしました。3つの色チームに分かれて「み・か・ん」のリズムにあわせて3回鳴らす練習から始まりました。最初はわけがわからず、とにかく振りまくる子どももいましたが、やってくうちにコツをつかみ、チームでリズムに合わせて鳴らすことができるようになってきました。そして最後は子どもたちのよく知っている

「♪この花のように」にチャレンジしました。チームカラーの色が譜面に書いてあり、歌に合わせて自分の色の所で鳴らします。難しそうでしたが、子ども達は自分の鳴らすところがよくわかっていて、綺麗なハーモニーになり、素敵な演奏でした。いきなり歌にあわせるのではなく、チームでまず心をあわせ、そして全体であわせるという段階を踏んでいくことを大切にされたリトミック遊びでした。「♪きよしこの夜」も同じように、色チームに分かれて練習をしています。

当日様々な不安や緊張も感じつつ、でも喜びと自信を持ってきっと年長組はページェントを演じてくれるでしょう。

保護者の皆様と共に喜びを分かち合うクリスマス会となりますことを願っています。

どうぞお楽しみに！！

園長 松本 直子